



水浸しになった戸狩駅



戸狩堤防破堤（左） 浸水した戸狩駅（右）【58災】

家畜のいち早い避難【58災】

■ダムによる洪水調節

伊藤氏：2人の話の映像を見て、大きなインパクトを受けた。現実を知るということは重要。

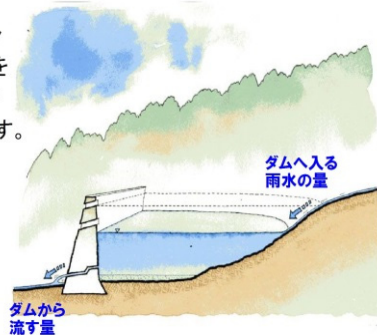
相模さんのお話では情報収集が困難で、現地にたどり着くのに時間がかかったということが印象に残っている。現在は国交省として、被害の際に使用できるマイクロ波を使った電話や、現場からの衛星通信などを整備している。また、大町ダムの再編事業として、確実に洪水調節ができるよう調査を進めているところである。

小山さんから「戌の満水」の話があったが、18世紀の災害を今に語り継ぎ、地域の方々が普段から心掛けてることが重要だと感じた。また、上流と下流のバランスを考慮した整備の必要性も感じた。

ここでダムの洪水調節について、説明させていただく。台風や大雨のシーズンには、前もってダム湖の水位を下げ、水を貯える準備をする。大雨の時には水を貯め込み下流へ流す水量を減らしている。計画以上の大雨が発生する場合は、貯水池に入ってくる量と同じ量を下流に流すという自然河川状態にするため、ダム上流から流入する水量以上にダムから放流されることはない。しかし、ダムがあるから必ず守られると思わず、いつもと違う降り方をしているときは、市町村からの情報にも注意して、過去の水害を思い起こし、行動していただきたい。ハードも必要だがソフトも大切であることを理解していただけたなら幸いである。

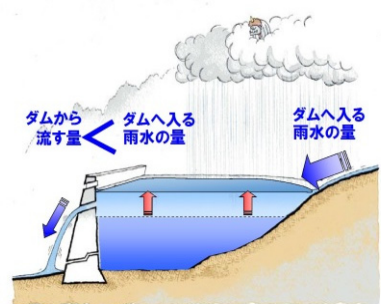
① 洪水に備える

台風や大雨のシーズンには、前もって貯水位を下げ、水をダム湖に貯めるための準備をします。



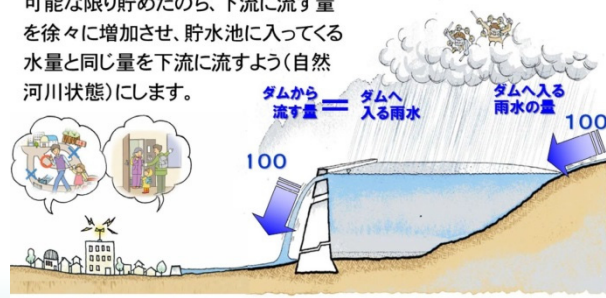
② 水を貯め込む

大雨の時には、ダムへ流入する水の一部をダムに貯め込んで、下流に流れる水量を減らします。



③ 計画以上の大雨発生

可能な限り貯めたのち、下流に流す量を徐々に増加させ、貯水池に入ってくる水量と同じ量を下流に流すよう(自然河川状態)にします。



ダムによる洪水調節の方法